

## 【H30-12】

### 肺癌カルボプラチンレジメンの制吐療法に対して、MASCC Antiemetic Tool (MAT) を用いた後ろ向き観察研究

#### 1. 研究の対象

2017年6月1日から2018年10月31日までに当院呼吸器内科に入院し、肺癌治療のためにカルボプラチンレジメンを導入した方

#### 2. 研究目的・方法

目的：肺癌カルボプラチンレジメンの制吐療法として第一世代 5-HT<sub>3</sub> グラニセトロン+ NK1 ホスアプレピタント+デキサメタゾンと第二世代 5-HT<sub>3</sub> パロノセトロン+ デキサメタゾンの有効性と安全性の比較し、より患者評価の高い制吐療法を探索することが目的です。

方法：研究担当者が、対象となる方の診療記録（カルテ）や検査データなどの情報を基に調査・集計します。新たな診療や検査の必要はありません。

研究期間：2019年12月31日まで

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診断名、年齢、性別、既往歴等診療情報録（カルテ）に記載されている情報、MAT、検査データ、使用している薬剤情報、食事歴、等

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

J R 東京総合病院 薬剤部

住所：東京都渋谷区代々木 2-1-3

電話：03-3320-2210（代表）

担当者： 研究責任者 上杉 章紀（薬剤部 主任医療技師）

-----以上